



建交労



2021年10月17日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2021年秋季年末闘争 No.4

2020年度推進ニュース③⑦通算234号

発行責任者 佐藤 章

10.31 衆院選は私たちの未来を決める日！ 決めるのは私たち！投票行動は私たちの声だ

国民の切実な声には応えず、コロナ禍でも大もうけを続ける巨大企業や大金持ち等にはさらに巨額の利益や強大な権利を与え、アメリカの要求には二つ返事で従順に应运ってきた安倍・菅自公政権の政策をそっくりそのまま引き継いだ岸田首相が10月14日に衆議院を解散し19日公示・31日投票の総選挙に踏み出しました。9年間の安倍・菅政権によって犠牲となった労働者・国民の損失ははかり知れません。このまま岸田自公政権が続けば労働者・国民に展望は開けません。

特に女性・子供・障害者・高齢者など社会的弱者と言われる人々の未来は真っ暗です。さらに地球と地球生命の存続が問われる気候危機をはじめ、コロナ対策・格差解消と国民経済の再建・中小企業や農林水産業の支援・ジェンダー平等・核兵器禁止・辺野古新基地の建設・原発廃止・震災復興など国民にとっての重要課題は、巨大企業・大金持ちとアメリカ言いなりの自公政権では真剣に追求されることはあり得ないでしょう。

一方、今度の総選挙では市民と4野党の共通政策「①憲法に基づく政治の回復、②科学的知見に基づく新型コロナウィルス対策の強化、③格差と貧困を是正する、④地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行、⑤ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現、⑥権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する」が締結され、さらには立憲民主党と日本共産党との間で政権協力が合意され野党共闘による明確な政権確立の展望が示されました。

神奈川県南支部は、労働者の要求を実現する立場から自公政権に代わる野党共闘による政権実現をめざす建交労中央本部の方針に結集して総選挙をたたかいます。

芸能人有志が総選挙の投票を呼びかける！

VOICE PROJECT—投票はあなたの声だ— 秋元才加 安藤玉恵 石橋静河 小栗旬 コムアイ
菅田将暉 Taka 滝藤賢一 仲野太賀 二階堂ふみ 橋本環奈 前野朋哉 ローラ 渡辺謙

上記の俳優やミュージシャンなど芸能人有志が10月16日にYouTubeの動画で総選挙での投票を呼びかけました。動画は約3分半で「VOICE PROJECT 投票はあなたの声」というプロジェクトとして行われ、政党や企業に関わりのない市民による自主制作プロジェクトとされています。

各自が「若者世代の投票率がそんなに少ないんだ、みたいなことは驚いたし、その中の1人でもあるよな、オレ」「まず意思を示さないと」「僕らのできる第一歩みたいなものが投票だよなと思っている」「自分がこれが好きとか、こうしたいとか、それを主張できなかった時代が長くあった」「言いたくても言えなかった人たちがいっぱいいるのに、言えるのにいわないのはもったいない」「僕は投票に行っている人が格好いいと思います。だから私は投票に行きます」などと語り、最後に全員が次々に「投票します」と宣言し、「投票はあなたの声だ」という言葉で締めくくられています。

このYouTubeは以下から視聴でき、動画に賛同する人には「#わたしも投票します」をつけてSNSで拡散するよう呼び掛けています。

[#わたしも投票します http://youtu.be/Ygtmbwj0sV4](https://www.youtube.com/watch?v=Ygtmbwj0sV4)

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声があがっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

名 前	住 所	募 金

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-4
電話：03-5842-6031